

藤岡市 議会だより

発行日 平成17年2月15日 発行 藤岡市議会 編集 藤岡市議会だより編集委員会 印刷 三和印刷株式会社
藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第29号



12月定例会の あ ら ま し

定例会は、12月9日から12月21日まで13日間の会期で開催されました。

藤岡市及び多野郡鬼石町の廃置分合についてなど23議案、議員提出議案1件が提出されました。

9日〓本会議 会期の決定。

市長提出議案22議案を即決。

10日〓総務常任委員会。

経済建設常任委員会。

13日〓教務厚生常任委員会。

16日〓本会議 一般質問。

21日〓本会議 市長提出追加議案1件、議員提出議案1件を即決。

一般質問

都市づくりについて

湯井 廣志

問 21世紀は都市間競争の時代である。行政は生活環境条件の改善、高齢化社会に対応した福祉教育の改善に努めることが要請され、都市の改善と産業経済の活性化に積極的に取り組まなければならない。藤岡市には高速道路の分岐点があり、交通の便は最高に良い地域でありながら交通機関の整備の遅れにより、通学・通

勤が非常に不便である。また、公共施設の配置もばらばらで非常に使いにくい。都市計画道路も昭和31年度に都市計画決定されたが、今だに30%しか進んでいない。市長は藤岡市の街づくりを、どのように考え実行しようとお考えか伺いたい。

答 議員指摘のとおり道路整備の遅れ、公共交通機関の不便さ、公共施設の配置の問題や使いにくさを感じる面があり、今後、見直すべきものは見直していきたいと考えています。また、総合計画による街づくりに一貫性・整合性を持たせ、

市民生活向上のためのパランスのとれた街づくりをしたいと思います。

問 平成8年度より施工中の北藤岡駅周辺土地区画整理事業は、ほとんど進んでいないが市長は、この地

に出向き公約として、この区画整理事業を見直すと公言しているが、どのように見直すのか決断を伺いたい。

答 当初計画92・7ヘクタールは諸般の理由で困難な状況となったため、26・8ヘクタールに縮小し、早期完成に向け努力する。



事務処理委託について

湯井 廣志

考えています。また、鬼石町との合併により、職員が膨らむこととなりますので、住民サービスの向上につながる人員配置を心がけたい。

問 公共で現在行っている基幹業務以外の事務を民間委託した場合、公共に比べて7割から1割程度にコストが下がり、サービスも向上すると地方自治経営学会が発表しているが、現在の基幹業務以外すべての事務処理を委託する考えはな

いか伺いたい。

答 平成17年3月定例市議会に指定管理者の手続に必要な条例を上程し、平成18年4月より指定管理者制度を実施すると共に民間委託すべき業務の研究を重ね、行財政改革に取り組み、徹底して経費節減をしたいと

事務事業評価

制度について

茂木 光雄

問 藤岡市の事務事業評価制度の現状について、また、内部からの事務事業評価委員制度を導入する考えはないか伺いたい。

答 事務事業評価は、各課の業務内容を事業ごとに分類した上で、行政の担当者評価シートを作成し、



管理部門で業務の必要性・達成度を分析し、効率性・経済性を検証するものです。

藤岡市は、平成14年度より

主要公共事業や事務事業の見直しを行う行財政改革を

積極的に推進しており、各

部署で事務事業をいかに効

率よく行うかを検討してい

ます。今後、合併により事

務事業の見直しをする必要

もありませんので、内部から

の事務事業評価委員制度に

ついても、いつ、どのよう

な方法で導入するかという

ことが行政課題であります

ので、何らかの方向性を見

い出したいと考えておりま

す。

公の施設の管理 について

茂木 光雄

問 市民ホールや偕同苑

等、藤岡市内の施設に不法

駐車や不法投棄物が見られ

るが、条例を制定して防止

する考えはないか伺いたい。

答 公共施設に放置され

た自動車については、放置

場所の管理者に当たる所管

課において対処しており、

所有者への撤去通知や張り

紙をし、早急に移動するよ

うに注意しています。今後

は、公共施設管理を徹底し、

実情に応じて看板の設置、

出入口に柵やバリケードの

設置も必要と考えており、

関係各課と協議をし、不法

駐車・不法投棄の防止に努

めていきたいと思っております。平成17年1月から自動車リサイクル法がスタートし、不法投棄・不適切処理の防止が期待されており、

これらを踏まえ、条例化に

ついても検討していきたい

と考えております。

中村堰の冬期水利権 取得支援について

青柳 正敏

問 中村堰は水田灌漑用の水利権のみで冬期水利権はないため、小野地区の農家は、冬の野菜栽培に品種の制約を余儀なくされている。また、小野小学校の通学路わきの用水路では、夏に住みついた魚介類が冬の渇水期には全滅状態とな

答 中村堰土地改良区の冬期水利権について、藤岡市では国土交通省関東調整部局高崎河川国道事務所長に対し、この趣旨の要望を

した。通年流水は、都市景観や豊かな自然環境あるいは、地域防災にも効果があり、また、農業所得の安定

に与える影響も大きいと予想されるため、中村堰土地改良区と連携し、群馬県に

対し要望実現に向け積極的

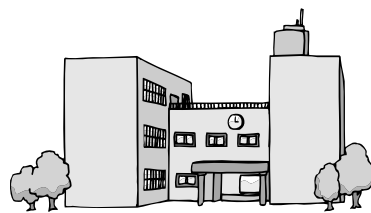
に働きかけをしており、今後冬期水利権取得の支援をしていきたい。

問 藤岡中央高校新設に

伴う諸問題について

橋本 新一

答 藤岡市内の生徒の学力向上については、生徒の個々の様子をもとに学習集団の人数を少なくして授業を行うなど、きめ細かな指



に働きかけをしており、今後冬期水利権取得の支援をしていきたい。

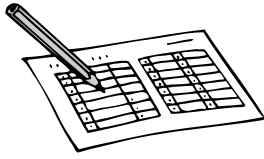
藤岡中央高校新設に 伴う諸問題について

橋本 新一

問 藤岡中央高校新設に

伴う諸問題について伺います。

答 藤岡市内の生徒の学力向上については、生徒の個々の様子をもとに学習集団の人数を少なくして授業を行うなど、きめ細かな指



導の工夫を市内各中学校で
しております。また、長期
休業中や放課後の時間を活
用するなどして補習授業も
積極的に取り組んでおりま
す。その結果を毎年度末に
行う全国標準診断的学力テ
ストから見ると、5教科の
偏差値の平均において、平
成8年度から平成15年度ま
で右肩上がり推移してお
り、全国平均を大きく上回
っております。藤岡中央高
校への藤岡市内中学校3年
生の入学希望者については、
12月1日現在の調査では、
第一希望の生徒数が文理総
合科42人、数理科科学科17人
で、合計59名となっております。
進路の状況について
は、藤岡中央高校の特徴等
についての周知は各中学校
に藤岡中央高校開設準備会
担当者招いて、生徒・保

護者を対象に説明会を開催
し、高等学校主催の学校説
明会への生徒の積極的な参
加を促し、各中学校におい
ては三者面談を中心に進路
指導を継続しているところ
です。

森林整備について

橋本新一

問 藤岡市中倉地内の市
有林整備について、皆伐と
植林をセットにして民間委
託する考えはないか伺いた
い。

答 中倉市有林は、約26
ヘクタールあり、杉が植林
され、既に50年経過してお
ります。山林を維持管理し
ていくには、間伐等の手入
れをし、大切に山林を育て



なければなりません。こ
れを実施するには大変経費
がかかってしまいます。現
在、林業を取り巻く状況は、
外国産木材の大量輸入等の
ため、国産の木材価格が低
迷となり、出荷しても赤字
となる場合が多くなってい
ます。また、長引く不況の
中、新たに林業経営に参入
する民間は少ないものと思
われますが、藤岡市といた
しましては民間委託、鬼石
町に建設中の県産材センタ
ーの活用等も含め検討して
いきたいと思えます。

高齢化社会に向けた 取り組みについて

三好徹明

問 藤岡市でも今後、高
齢者の健康対策が重要な課
題になります。住民の介護
予防、健康維持増進を図る
ことよって個々の市民の
幸せや、市財政に占める医
療費の軽減などに大きく寄
与するでしょう。中国は高
齢化社会に苦慮し、都市部
では健康遊具を設置してい
ます。中央公園の一部に、
散歩道路と共に試験的に介
護予防遊具を導入してみ
てはどうでしょうか。

答 藤岡市民中国江陰市
友好訪問団に加わり、上海
の魯迅公園で健康遊具を実
際に体験いたしました。ま

た、東京都千代田区が高
齢者向けに介護予防公園と
位置づけ、遊具8種類を設
置し、住民に活用を呼びか
けているとのニュースを目に
しました。高齢化社会に対
応して健康を保持し、介護
を予防するためにも、行政
として健康遊具の設置を検
討していく必要があると思
います。

防災対策について

斉藤千枝子

問 藤岡市には、平井活
断層や神川活断層がある。
また、山間部が多く、災害
はいつ起こるかわかりませ
ん。日野・高山地域の危
険箇所の現状と対応、災害
時の住民への情報伝達、避
難場所の耐震化、備蓄品

に備蓄品

高齢者などの災害弱者への対応 防災マップの作成について伺いたい。

答 地域防災計画の危険箇所は、国土交通省の基準で把握している。地すべり発生危険箇所が14カ所であり、地すべり防止区域として、日野の小柏地区の一部が指定され、現在、整備されている。急傾斜地崩壊危険箇所は26カ所あり、このうち危険区域指定13カ所は整備されている。また、土石流危険渓流が34カ所ある。危険箇所において、雨量により警戒体制が定められている。なお、危険区域は群馬県が調査し、整備を実施している。避難勧告の緊急伝達は、災害対策本部から自主防災組織代表者に電話、または現地に赴く形の連絡体制。連絡を受けた自主防

災組織代表者から班長へ連絡。班長は個別巡視や広報を実施し、避難場所を地元対策本部とし、集団行動の拠点とする。山間部で電話不能時は、日野公民館に設置の地域防災無線で連絡し、公民館職員等が現地に伝達する。新耐震基準の施行以前に建築された学校施設は平成18年度から順次、耐震診断等を実施する。他の避難場所は今後検討を進める。備蓄品は藤岡市防災センターに集中型で備えている。また、日野公民館に非常食や毛布など配備しており、高山などにおいても検討し、配備していきたい。

自主防災組織の円滑なる集団行動が整備できるよう、これから整えていきたい。危機管理意識向上を目指すため、地域防災の現状を



風疹の予防について

斉藤 千枝子

問 妊娠中の母親が風疹に感染すると胎児が感染し、先天性風疹症候群の子供が生まれる可能性がある。予防接種の未接種者をなくしていく為の今後の対応を伺いたい。

答 1歳6ヶ月児健診、3歳児健診での勧めと、保育園、幼稚園入園時、小学校入学時に勧奨する方法等を考えている。また、成人式等で啓発していきたい。

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。
傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。
問い合わせは市議会事務局（22 1211 内線2361）へ

掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録（2月末発行予定）をご覧ください。

編集後記

新しい年を迎え、皆様にとって、より良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。
平成16年第7回定例市議会においては、藤岡市と鬼石町の合併に関する議案を可決いたしました。
また、6人の議員が一般質問を行い財政、福祉、建設、教育等について熱い議論を交わしました。
編集委員会では、市民の皆様が議会活動がより一層ご理解いただけるよう、読みやすい市議会だよりにしていきたいと考えておりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 反町 清 |
| 副委員長 | 斉藤千枝子 |
| 委員 | 串田 武 |
| 〃 | 木村 喜徳 |
| 〃 | 青柳 正敏 |
| 〃 | 清水 保三 |
| 〃 | 吉田 達哉 |
| 〃 | 久保 信夫 |

議案等審議結果（10月臨時会）

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
第 72 号	藤岡市住民投票条例の制定について	否決(少数)

議案等審議結果（12月定例会）

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告10号	専決処分報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
報告11号	専決処分報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
諮問3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(全員一致)
第 73 号	教育委員会委員の任命について	同意(多数)
第 74 号	子ども憲章の制定について	可決(全員一致)
第 75 号	藤岡市及び多野郡鬼石町の廃置分合について	可決(多数)
第 76 号	藤岡市及び多野郡鬼石町の廃置分合に伴う財産処分に関する協議について	可決(多数)
第 77 号	藤岡市及び多野郡鬼石町の廃置分合に伴う議会の議員の在任に関する協議について	可決(多数)
第 78 号	藤岡市及び多野郡鬼石町の廃置分合に伴う農業委員会の委員の任期に関する協議について	可決(多数)
第 79 号	藤岡市及び多野郡鬼石町の廃置分合に伴う地域審議会の設置等に関する協議について	可決(多数)
第 80 号	鬼石町の廃置分合による脱退に伴う多野藤岡広域市町村圏振興整備組合の財産処分に関する協議について	可決(多数)
第 81 号	鬼石町の廃置分合による脱退に伴う藤岡、新町、吉井、鬼石環境衛生事務組合の財産処分に関する協議について	可決(多数)
第 82 号	藤岡市税条例の一部改正について	可決(多数)
第 83 号	藤岡市文化財保護条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 84 号	藤岡市保育所条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 85 号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可決(全員一致)
第 86 号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合規約の変更について	可決(多数)
第 87 号	藤岡市営戸塚土地改良事業の施行について	可決(全員一致)
第 88 号	市道路線の廃止について	可決(全員一致)
第 89 号	市道路線の認定について	可決(全員一致)
第 90 号	平成16年度藤岡市一般会計補正予算（第3号）	可決(全員一致)
第 91 号	平成16年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可決(全員一致)
第 92 号	平成16年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可決(全員一致)
第 93 号	平成16年度藤岡市学校給食センター特別会計補正予算（第1号）	可決(全員一致)
第 94 号	平成16年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決(全員一致)
第 95 号	平成16年度藤岡市一般会計補正予算（第4号）	可決(多数)
議員提出議案		
第 6 号	救急車の24時間態勢（昼夜）の配備確立方促進を求める意見書の提出について	可決(全員一致)
選 挙		
第 5 号	群馬県六市自転車競走組合議会議員の補欠選挙	当選
請 願		
第 5 号	「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する請願	不採択(多数)
第 6 号	WTO・FTA交渉に関する請願	不採択(多数)
第 7 号	全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書	趣旨採択(多数)
第 8 号	郵政事業経営形態に関する国への意見書提出の請願	継続審査(多数)
陳 情		
第 5 号	救急車の24時間態勢（昼夜）の配備確立方促進について	採択(全員一致)